

ヌカイトチシダモドキ

Dryopteris labordei (H.Christ) C.Chr. var. *indusiata* (Makino) Seriz.
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地は限られ、個体数も少ない。県内では3箇所のみである。2015年に福井市で生育を確認した。要注目から県域絶滅危惧Ⅱ類に変更する。県内は北限地になっている。

分 布

全国分布は本州（静岡県以西）から九州。県内分布は3箇所
で福井県は北限となる。

種の特徴

常緑性のシダ類。ヘニシダに似るが、胞子嚢は中肋と辺との中間性。羽片に柄がほとんどなく、羽軸にほぼ直角に出、鎌形に上向する。高さ70cm前後、卵状三角形、2～3回羽状であるが変化はある。包膜は紅色と灰白色がある。芽出しは葉が紅色になる。

生育を脅かす要因

森林伐採、開発、園芸採取圧、シカ被害。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○						○									○

ヒメイトチシダ

Dryopteris sacrosancta Koidz.
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では3箇所のみ。産地局限。個体数は少ない。海岸沿いに生育、北陸地方は北限に近い。

分 布

全国分布は本州（秋田県以西）から九州まで。県内分布は嶺北地方で2箇所、嶺南地方で1箇所。

種の特徴

常緑性のシダ類。ヤマイトチシダに似るが、葉柄下部の鱗片はほぼ黒色で縁は淡茶になる。葉質は薄く、葉の高さ70cm前後、葉身は2～3回状、幅広く卵状三角形である。日当たりのよい場所に生育。

生育を脅かす要因

開発、道路改修、産地局限。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○		○									

ホソイノデ

Polystichum braunii (Spenn.) Fée
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内での生育地は4箇所のみである。深山では現状維持されているが、登山客が多い場所では、採取等による減少が危惧される。

分 布

全国分布は北海道、本州。県内分布は大野市。

種の特徴

夏緑性のシダで、深山の湿った林床に生育する。葉柄は短く淡茶色多く鱗片をつける。葉身は2回羽状複葉、中央が一番広い。羽片は基部に向かってしだいに狭くなる。胞子嚢群は小羽片の中肋よりにつく。

生育を脅かす要因

森林伐採、自然遷移、登山道の整備。園芸採取。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1983）、
中池敏之（1982）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	